

＜学校の教育目標＞

○とりくむ子 ○考える子 ○やさしい子

学校経営方針（学力向上にかかわる要点）

子供の学習習慣や学習規律を確かにして、その上で、知識・技能の習得が進められ、これらを活用して課題解決するための思考力・判断力・表現力を身に付けていく。そして、自ら学んだ力を高めて学習や生活の中に生かせるようにする。

○校内研究を通して

＜研究主題＞ わかる できる 指導法の工夫

「説明的文章の読みの活用をとおして」（国語科）

○平素の授業を生かして

・教員相互に授業を見合い、指導力の向上を図る

確かな学力向上に向けた具体的な取組

- 改善の視点**
- 言語活動を充実させた授業構成を図り、思考力・判断力・表現力を育成する。
 - 授業に結びつく学習の構え＜宿題・忘れ物＞や学習規律の共通化を図るとともにその大切さを繰り返し指導する。
 - 問題解決型の授業を意識して推進する。特に、学習の見通しをもたせることを大切にする。
 - 高学年においては、教科担任的な指導形態を取り入れ、多くの教員が各学級の授業にかかわる。
 - 国語科の説明的文章に視点をあてて、読解力の向上をめざす。
 - 1年～4年の算数少人数指導を推進し、一人一人の学力の向上をめざす。

本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって学習を進めることを大事にするとともに、課題解決する喜びを味わうことができるような学習指導の充実を図る。 ・説明する活動や話し合う活動、調べ学習、書く学習など工夫した授業を展開し、言語活動の基盤をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた学習指導を充実させるため、ゆとりある授業時間数の確保をする。 ・高学年の教科担任的な指導形態が可能になる指導計画の工夫をする。 ・算数少人数指導を進め、習熟度を意識しながら基礎的・基本的な力の習得を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究計画の見直しや改善を図るとともに年6回の研究授業を実施する。 ・OJTとして教職員が相互に日常の授業を通して研修できるような工夫をする。 ・教員相互に授業を見せ合い指導力の向上をめざす為、授業改善交流週間を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート、ノート指導、観察、発言等を活用し、確実に個人の学習成果を評価し、授業改善を生かす。 ・評価に関わる学習活動の充実を図り、児童の自己評価・相互評価力を学習活動に生かせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者がボランティア活動として、学習補助などに積極的に参加できる工夫をする。 ・学校運営連絡協議員・学校関係者評価委員との連携を図り、適切な外部評価を得た教育活動の充実を図る。

＜平成23年度の東京都学力向上を図るための調査の課題＞

- 国語では、言語についての「知識・理解・技能」や「読むこと」に課題があることが捉えられた。
 - ①主語と述語の関係や修飾と被修飾の関係など言葉の特徴やきまりについて理解し、使うこと。
 - ②目的に応じて中心となる語や文を捉え、段落相互の関係を読みとるなどして、文章全体の構成を捉えること。
- 社会では、「観察・資料活用の技能」や必要な情報を正確に取り出すことに課題があることが分かった。
 - ①基本的な地図記号、方位や県の特性・位置などを習得すること。
 - ②文章やグラフ等の資料を正確に読み取り、比較・関連させて、必要な情報をまとめること。
- 算数では、特に「数学的な考え方」や「技能」に課題があることが捉えられた。
 - ①小数の計算や数量の関係など基礎・基本を習得し、数理的な処理のよさを気付いていけるようにすること。
 - ②図形や量の大きさの感覚を豊かにすること。
 - ③数学的な見方や考え方の基礎を身に付けること。
- 理科では、特に「科学的な思考・表現」に課題があることが捉えられた。
 - ①自然の事物・現象の変化とその要因との関係に問題を見いだしては実験・観察を行い、問題を解決すること。

＜授業改善の課題＞

- 全教科において実践を通して、次の視点をもって授業を練り上げていくことが授業改善につながると考える。
- (1) 言語活動の充実を踏まえた授業構成
 - (2) 指導のねらいを明確にし、見通しを大切にしながら調べたり推測したりする学習活動の在り方の追究
 - (3) キーワードを捉え、段落関係を読み解く力を高める指導の工夫
 - (4) 日常生活からの問題場面を取り上げ、既習事項を生かして問題解決を図る授業の推進
 - (5) 必要な情報を正確に取り出し読み取るために、本や新聞を読む生活習慣の確立
 - (6) 家庭と連携した家庭学習の充実